

# **第2回歴史的風致維持向上協議会 補足資料**

■チェックをお願いする前提

■第1章及び第2章

**令和3年6月4日（金）**

# ■ チェックをお願いする前提

- 計画書の概要
- 各章の複数回のチェック



## 歴史的風致維持向上計画の全体像

### 序章

### 第1章 歴史的風致形成の背景

### 第2章 維持向上すべき歴史的風致

### 第3章 歴史的風致の維持及び向上に関する方針

### 第4章 重点区域の位置及び区域

### 第5章 文化財の保存又は活用に関する事項

### 第6章 歴史的風致維持向上施設の整備又は管理に関する事項

### 第7章 歴史的風致形成建造物の指定の方針

### 第8章 歴史的風致形成建造物の管理の指針となるべき事項

## 協議会提案のサイクル（予定）

### 第2回協議会（今回）

第1章 歴史的風致形成の背景

第2章 維持及び向上すべき歴史的風致



### 第3回協議会（次回）

第1章 歴史的風致形成の背景

第2章 維持及び向上すべき歴史的風致

第4章 重点区域の位置及び区域



### 第5回協議会

第1章 歴史的風致形成の背景

第2章 維持及び向上すべき歴史的風致

第3章 歴史的風致の維持及び向上に関する方針

第4章 重点区域の位置及び区域

第5章 文化財の保存又は活用に関する事項

第6章 歴史的風致維持向上施設の整備又は管理に関する事項

第7章 歴史的風致形成建造物の指定の方針



### 第4回協議会

第1章 歴史的風致形成の背景

第2章 維持及び向上すべき歴史的風致

第3章 歴史的風致の維持及び向上に関する方針

第4章 重点区域の位置及び区域

第6章 歴史的風致維持向上施設の整備又は管理に関する事項



### 第6回協議会以降

序章含む、全章が対象

新たな章がプラスされることで、既存の章の記述内容に変更が生じうる。

# ■第 1 章及び第 2 章

- 第 1 章と第 2 章の関連性
- 第 2 章 維持及び向上すべき歴史的風致
- 第 1 章 歴史的風致形成の背景
- 重点区域の考え方

- ・「歴史的風致」となり得なかった事項については、第1章の「3 歴史的環境」の「(1) 歴史」において、やや厚めに記述している。

## 第2章 維持及び向上すべき歴史的風致

- 1 「関東の華」から「生糸のまち」への変遷
- 2 「1500年都市・総社」
- 3 赤城山信仰
- 4 「大胡暴れ獅子」にみる歴史的風致
- 5 剣聖「上泉伊勢守」の顕彰活動

## 第1章 歴史的風致形成の背景

- 1 自然的環境
- 2 社会的環境
- 3 歴史的環境
- 4 文化財等の分布状況

第2章で記述を行わなかった内容を主に記載

## 第1回協議会のおさらい

## 計画策定方針（抜粋）

歴史的風致の設定、施設整備の立案等は、歴史文化遺産活用の取り組み（H25～）をベースに検討する

## 歴史空間マップにおける記載

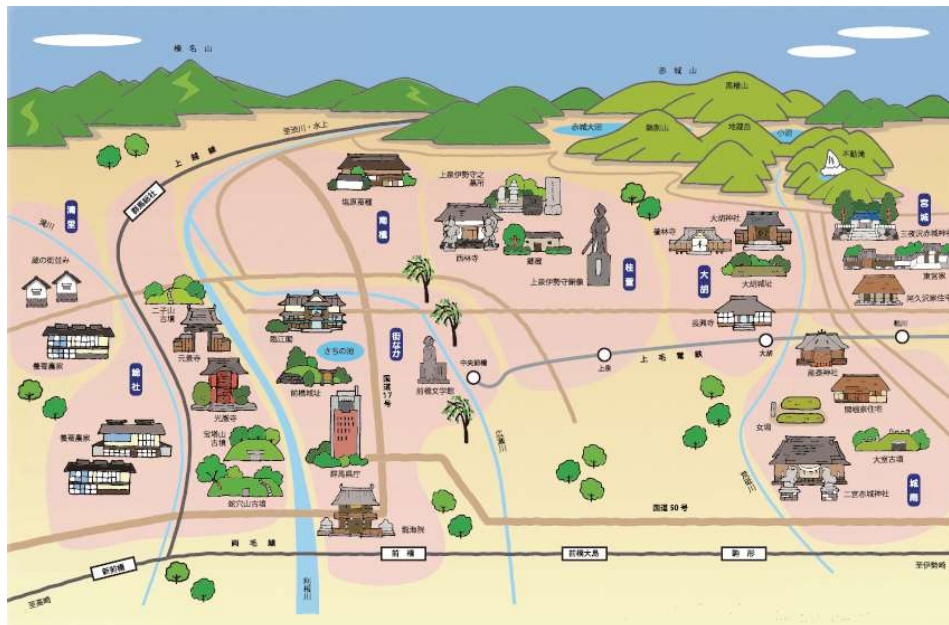
|       |                |
|-------|----------------|
| 本庁エリア | 前橋城址・臨江閣・酒井・松平 |
| 清里エリア | 養蚕住宅・蔵         |
| 総社エリア | 養蚕住宅・古墳・秋元     |
| 南橋エリア | 養蚕住宅           |
| 桂萱エリア | 上泉伊勢守          |
| 城南エリア | 産泰神社・二宮赤城神社・古墳 |
| 大胡エリア | 大胡城址・牧野        |
| 宮城エリア | 三夜沢赤城神社・東宮家住宅  |

## カテゴリ分け

関東の華  
生糸のまち  
広瀬川  
養蚕文化  
秋元長朝公  
東国文化  
大胡城下  
赤城山信仰

## 歴史的特徴として再構成

関東の華から生糸のまちへの変遷  
生糸のまちを支えた養蚕・蚕種  
1500年都市・総社  
大胡城下  
赤城山信仰



## 国に提案した歴史的風致

## 1 「関東の華」から「生糸のまち」への変遷

- (1) 初市まつり（酒井家統治下）
- (2) 水神崇拝（復興への気概）
- (3) 生糸のまち（臨江閣、広瀬川、レンガの街並み）
- (4) 伝統（城下町）と革新（製糸都市）の共存
- (5) 前橋公園（るなぱあく、臨江閣を含む）
- (6) 戦後復興（ケヤキ並木、前橋まつり）

## 2 「1500年都市・総社」

- (1) 東国文化の中心地（総社神社）
- (2) 秋元氏統治の時代（総社宿周辺）
- (3) 総社の集落文化（総社山王地区）

## 3 赤城山信仰

## 4 生糸のまちを支えた養蚕・蚕種

## 5 大胡城下

- (1) 大胡氏の系譜（暴れ獅子・大胡宿・上泉伊勢守）
- (2) 上毛電鉄

**国に提案した歴史的風致****1 「関東の華」から「生糸のまち」への変遷**

- (1) 初市まつり（酒井家統治下）
- (2) 水神崇拜（復興への気概）
- (3) 生糸のまち（臨江閣、広瀬川、レンガの街並み）
- (4) 伝統（城下町）と革新（製糸都市）の共存
- (5) 前橋公園（るなぱあく、臨江閣を含む）
- (6) 戦後復興（ケヤキ並木、前橋まつり）

**2 「1500年都市・総社」**

- (1) 東国文化の中心地（総社神社）
- (2) 秋元氏統治の時代（総社宿周辺）
- (3) 総社の集落文化（総社山王地区）

**3 赤城山信仰****4 生糸のまちを支えた養蚕・蚕種****5 大胡城下**

- (1) 大胡氏の系譜（暴れ獅子・大胡宿・上泉伊勢守）
- (2) 上毛電鉄

**国と協議後の歴史的風致****1 「関東の華」から「生糸のまち」への変遷**

- (1) 前橋三大まつり
- (2) 市民の行楽
- (3) 広瀬川の美観活動

**2 「1500年都市・総社」**

- (1) 総社神社の祭礼
- (2) 総社地区の歴史顕彰活動
- (3) 総社山王地区の養蚕集落

**3 赤城山信仰****4 「大胡暴れ獅子」にみる歴史的風致****5 剣聖「上泉伊勢守」の顕彰活動****「国の指摘」と協議後の対応**

- 「地域住民の活動」がないものは、「営み」や「活動」とは認められない。  
→明確な「営み」で、歴史的風致を再構成
- 特に街なかの歴史的風致が認められづらく、歴史的建造物が活かしきれない。  
→「三大まつり」など、範囲を広く取り、「背景建造物」として取り入れる。
- 「生糸のまち」の50年以上続く活動がなく、歴史的風致となり得ない。  
→各歴史的風致のエッセンスとして、第1章及び第2章の文章に織り込む。



## 第1章 歴史的風致形成の背景

### 1 自然的環境

(1) 位置 (2) 地形・地質・気候

### 2 社会的環境

(1) 市町村の合併経緯 (2) 土地の利用 (3) 人口動態 (4) 交通機関 (5) 産業 (6) 観光

### 3 歴史的環境

(1) 歴史 (2) 関わりのある人物

### 4 文化財等の分布状況

(1) 国指定 (2) 県指定 (3) 市指定 (4) 未指定 (5) 食文化 (6) 工芸品

- 「**1 自然的環境**」及び「**2 社会的環境**」については、市で発行済の計画書、統計書等を参考に、作成した。
- 「**3 歴史的環境**」の「**(1) 歴史**」については、前述のとおり第2章との相関関係にあるが、「**(2) 関わりのある人物**」については、主に第2章の歴史的風致と関わりの深い人物を挙げる方針
- 「**4 文化財等の分布状況**」については、市文化財保護課と協議の上作成した。

## 第1回協議会のおさらい

## 【重点区域の定義】

- 国指定の文化財（建造物）があること
- 当該区域に歴史的風致が認められること
- 歴史的風致が損なわれつつある等の課題が生じている（おそれがある）こと
- 各種取組が、当該区域並びに市町村全体の活性化につながるものであること

## 【重点区域の設定案】

## ○前橋駅～前橋公園（第1期）

国指定文化財：臨江閣

歴史的風致：関東の華から生糸のまちへ

## ○元総社～総社（第2期から追加）

国指定文化財：宝塔山古墳ほか

歴史的風致：1500年都市・総社

※街なかでの事業規模が大きいことが想定されたため、2期に分けた。

- ・コロナ禍による「街なか」における大規模事業見直しの可能性
- ・「街なか」と「総社」が密接に関連するとの協議会の意見を考慮

## 重点区域の方針

第1期の計画書では、「街なか」と「総社地区」の2区域について、重点区域を設定をする。

## 【今後の予定】

- ①次回の協議会では、「第4章 重点区域の位置及び区域」を提案予定
- ②そのため、重点区域で実施予定の「事業」についても、素案を提示する。